

各紙絶賛！歩いて楽しい街をとことん紹介 講談社から好評発売中

# 奈良の平日 ~誰も知らない深いまち

- ・ 世界遺産の隣に魅惑の路地裏と古民家
- ・ 古都奈良に息づく近代化遺産も案内
- ・ 奇跡の水辺、ため池がいっぱい
- ・ お地蔵さんのいる生活景観の風情



第1章 生活感あふれる「きたまち」

第2章 「ならまち」界限

第3章 まちなか地蔵さん

第4章 高畑の洋館秘話

第5章 古都に息づく近代化遺産

第6章 まちを彩る乗り物

第7章 大和の水景

第8章 大和の食べもの雑記帳

和菓子屋の角に「奈良ホテル近道」という小さな立て札を偶然見つけ、細い路地に誘われるように行ってみる。歩いてほどなくすると、法蓮格子の風情ある町家がぼつり。小さな看板を掲げていて、文化財の解説か何かだろうと最初は思った。ところがそうではなく、昔、元興寺の鐘楼に出没する悪い鬼を退治しようと坊さんが追いかけてきたが、このあたりで見失った。だからここは不審ヶ辻町と呼ぶ。そう書いてある。鬼を見失ったまちなんて、愉快的話だ。 (「まえがき」から)



著者・浅野詠子

青山学院大学卒。奈良新聞の記者 20 余年の経験を経て 2008 年退社し、フリーのジャーナリストになる。



246 ページ、1620 円

お求めはお近くの書店か

アマゾンなどのネット販売で！